

社会保険紀南病院の現況



平成20年3月19日

《施設概況》

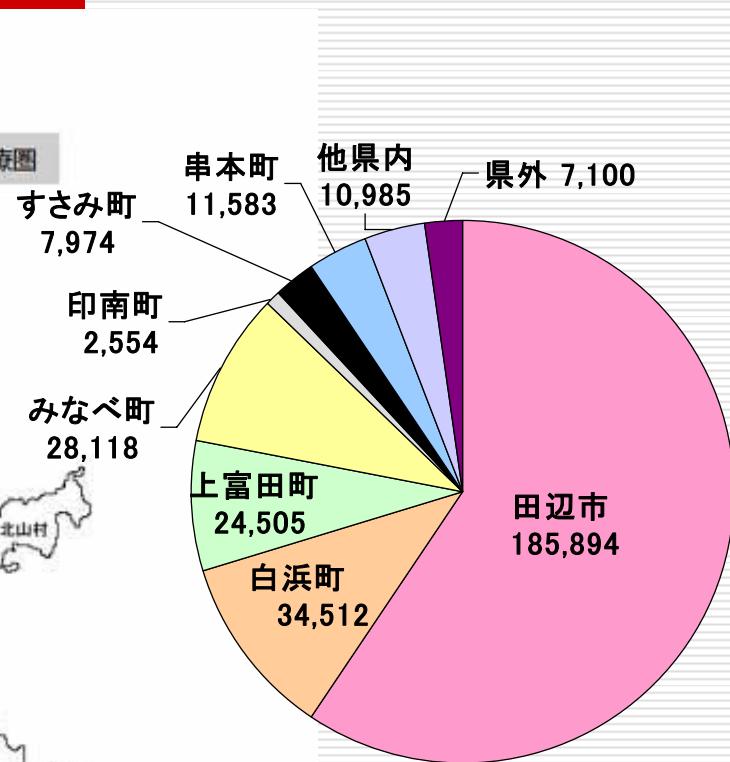
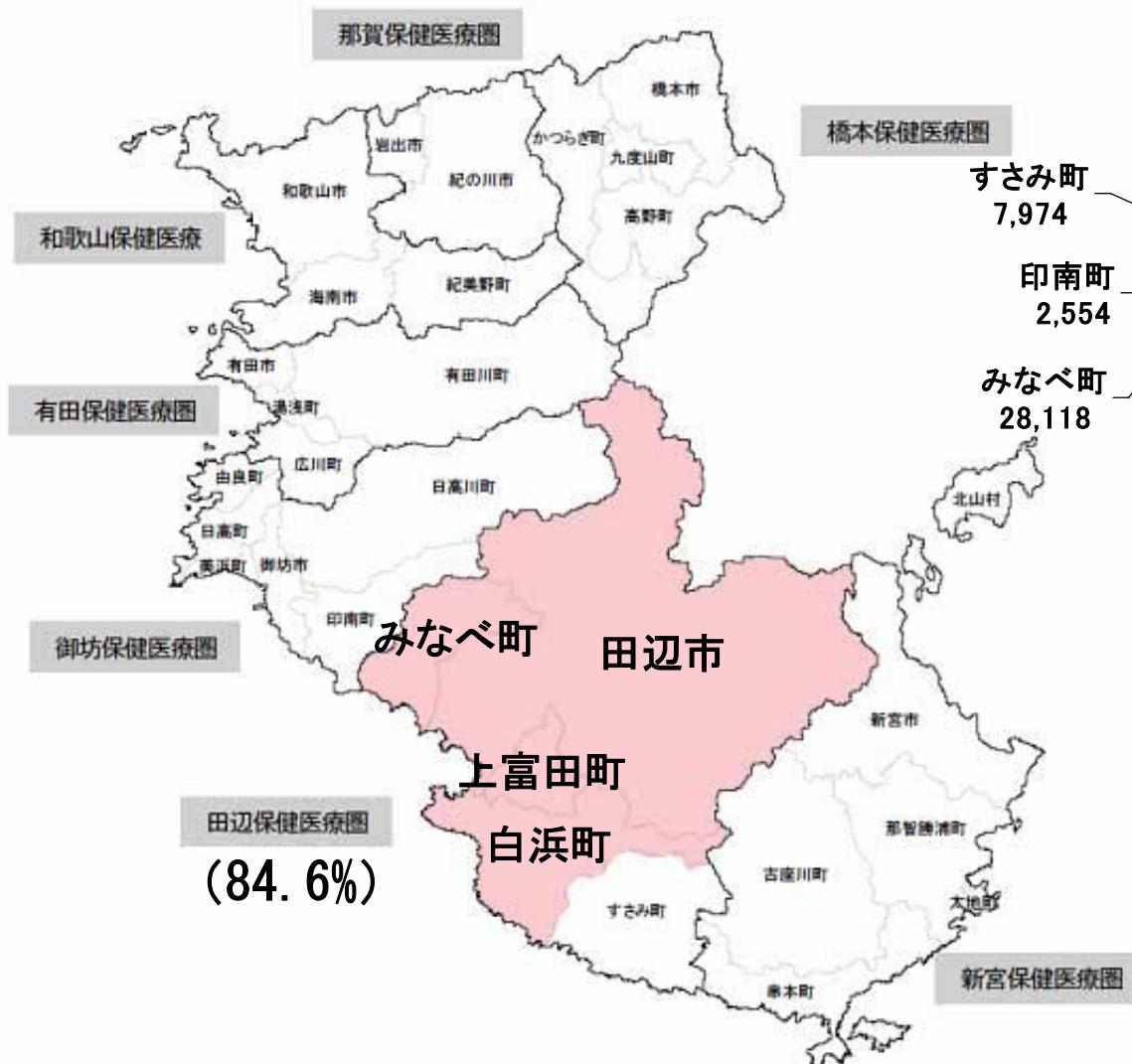
- 昭和20年12月19日 公立紀南病院組合設立
- 昭和33年 4月 1日 社会保険紀南総合病院の経営受託
- 平成17年 5月 1日 新築移転
敷地面積:約43,769 m²、建築面積:7,792 m²、延床面積:29,305 m²
駐車台数:773台(内 身障者用18台)、ヘリポート完備
- 構成市町村 4市町(田辺市、白浜町、上富田町、みなべ町)
 - 人口135,097人 (診療圏140,389人)
 - 面積1405.42平方キロ (診療圏1580.13平方キロ)
- 病床数 一般:352床
(感染病床:4床、NICU:6床、ICU・CCU:8床)
- 職員数 病院:672名 (医師職:78名 看護職:387名)
看護学校:16名
- 併設 紀南こころの医療センター (精神病床:254床)
社会保険紀南看護専門学校 (30名/学年)

《基本理念》

“私たちは、患者さまに優しさをもって接し、
皆様から信頼される医療を目指します。”

1. 患者さまの人間性を尊重し、思いやりと奉仕の精神で医療に努めます。
2. 職員の教育・研修に努め、質の高い医療を提供し、地域中核病院としての役割を果たします。
3. 開かれた病院として、地域住民や医療、保健、福祉関係者の研修と生涯教育の充実に努めます。
4. 救急医療・災害時医療の充実に努めます。
5. 効率的な管理運営を行い、健全経営に努めます。

《和歌山県の医療圏》



市町村別患者数
(18年度累積)

《設備概況》

□ 主要設備

- X線デジタル撮影装置
- MRI(1.5テスラ)、CT(16列マルチ他1台)
- X線テレビ装置
- 体外衝撃波結石破碎装置(ESWL)
- 放射線治療装置、RIシンチレーションカメラ
- マンモグラフィー、3Dエコー
- 内視鏡装置（消化器用、呼吸器用、耳鼻科用、泌尿器用）
- 血管造影 2台(心臓用、頭・腹部用)、血管内超音波内視鏡(IVAS)
- 巡回健診バス 2台(うち1台はX線デジタル撮影装置搭載)
- 小児ドクターカー
- 全病室インターネット利用可、全個室に電話機

□ 医療情報システム

- 電子カルテシステム
- オーダーエントリーシステム
- デジタル画像管理システム
- 外来表示板システム
- サイボーズ(グループウェア)

《機関指定》

- 救急告示病院
- 災害拠点病院
- 第二種感染症指定病院
- 地域周産期母子医療センター
- へき地医療拠点病院
- 地域がん診療拠点病院
- 管理型臨床研修指定病院(医科)
- 単独型臨床研修指定病院(歯科)
- 日本病院機能評価認定病院

《経営状況》

(単位:百万円)

| | 15年度 | 16年度 | 17年度 | 18年度 | 19年度 |
|------------|-------|-------|--------|--------|-------|
| 入院収益 | 4,390 | 4,483 | 5,327 | 5,481 | 5,823 |
| 外来収益 | 2,302 | 1,654 | 1,763 | 2,022 | 1,944 |
| 医業収益 | 7,064 | 6,523 | 7,603 | 8,071 | 8,372 |
| 総収益 | 7,816 | 7,269 | 8,402 | 8,391 | 8,765 |
| 総費用 | 7,738 | 7,862 | 9,814 | 9,755 | 9,530 |
| 医業費用 | 7,343 | 7,233 | 9,270 | 9,330 | 9,205 |
| 内給与費 | 3,990 | 4,104 | 4,260 | 4,558 | 4,943 |
| 内減価償却費 | 209 | 160 | 810 | 785 | 771 |
| 当期純利益 | 78 | -593 | -1,412 | -1,363 | -765 |
| 給与費/医業収益比率 | 56.5 | 62.9 | 56.0 | 56.5 | 59.0 |

《紀南病院の役割》

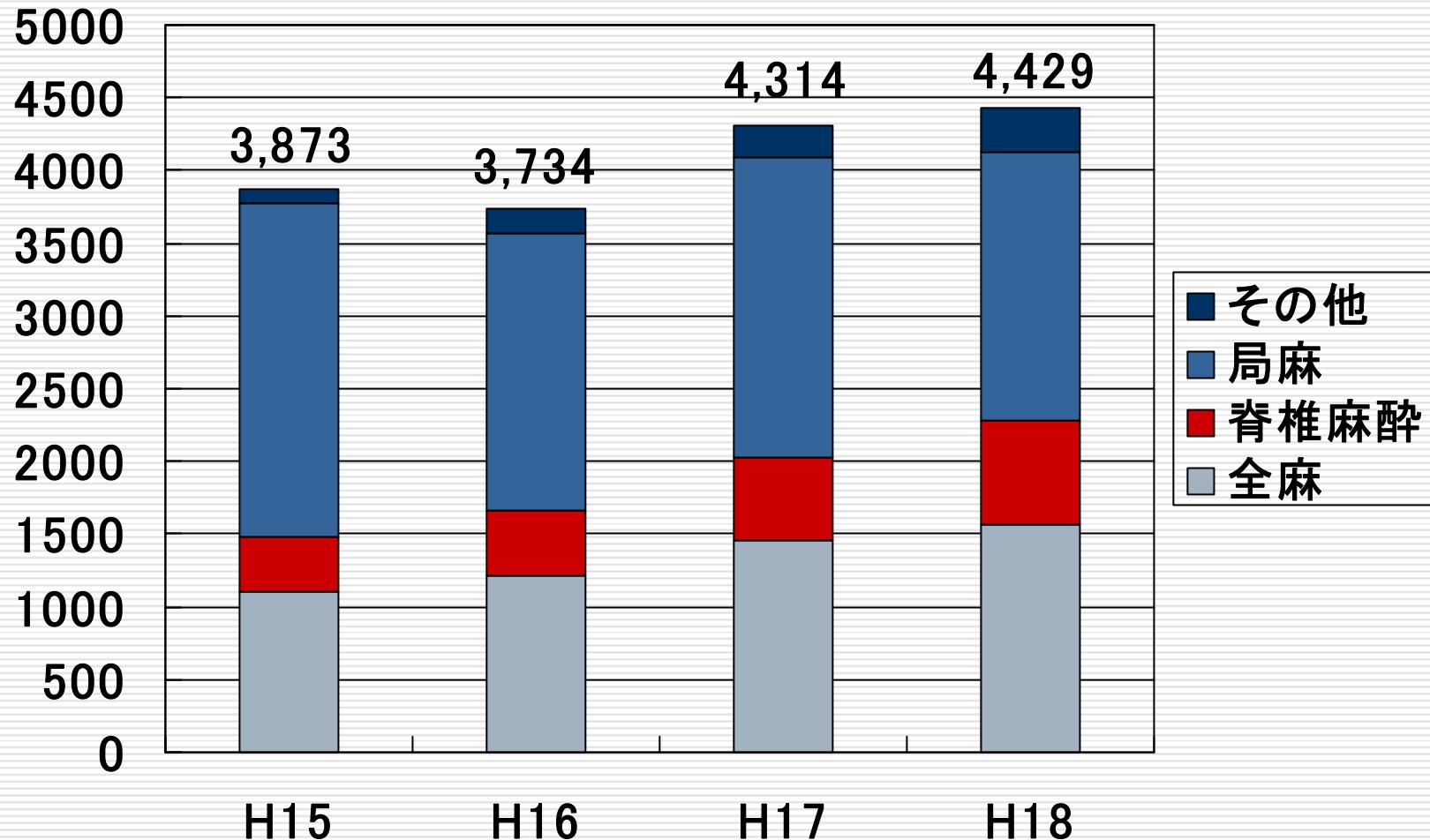
“紀南地域の急性期医療を担う中核病院”

- 小児救急医療の確保（24時間365日）
- 休日夜間の2次救急医療の確保
- 地域周産期母子医療センター
- 地域がん診療連携拠点病院
- へき地医療支援病院
- 臨床研修指定病院
- 災害拠点病院
- 地域住民に対する健康福祉事業
 - 市民健康講座の定期開催
 - 健診車による健診事業

《外来・入院データの推移》

| | 平成16年度 | 平成17年度 | 平成18年度 |
|----------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 1日平均外来患者数 | 840. 9 | 720. 8 | 805. 2 |
| 1日平均入院患者数 | 299. 0 | 308. 9 | 317. 7 |
| 平均在院日数 | 17. 3 | 15. 2 | 12. 9 |
| 入院延べ患者数 | 109, 151 | 112, 761 | 115953 |
| 外来患者数 (新患率) | 204, 332 (11. 3%) | 192, 248 (12. 0%) | 197, 272 (12. 8%) |

《手術件数》



《がん診療》

- 「地域がん診療連携拠点病院」認定
- 「外来化学療法室」・「緩和ケアチーム」設置
- 「がん登録票」作成件数 計524件（期間：平成19年1月～平成20年2月）

(内訳)

| ICD-O局在 | 部位 | 件数 | ICD-O局在 | 部位 | 件数 |
|---------|-------------|-----|---------|---------------|----|
| C00-C14 | 口唇、口腔及び咽頭 | 22 | C51-C58 | 女性性器 | 40 |
| C15-C26 | 消化器 | 232 | C60-C63 | 男性性器 | 47 |
| C30-C39 | 呼吸器系及び胸腔内臓器 | 76 | C64-C68 | 尿路 | 28 |
| C40-C41 | 骨、関節及び関節軟骨 | 1 | C69-C72 | 眼及び付属器 | 2 |
| C42 | 造血系及び細網内皮系 | 5 | C73-C75 | 甲状腺及びその他の内分泌腺 | 21 |
| C44 | 皮膚 | 6 | C77 | リンパ節 | 8 |
| C50 | 乳房 | 26 | C80 | 原発部位不明 | 10 |

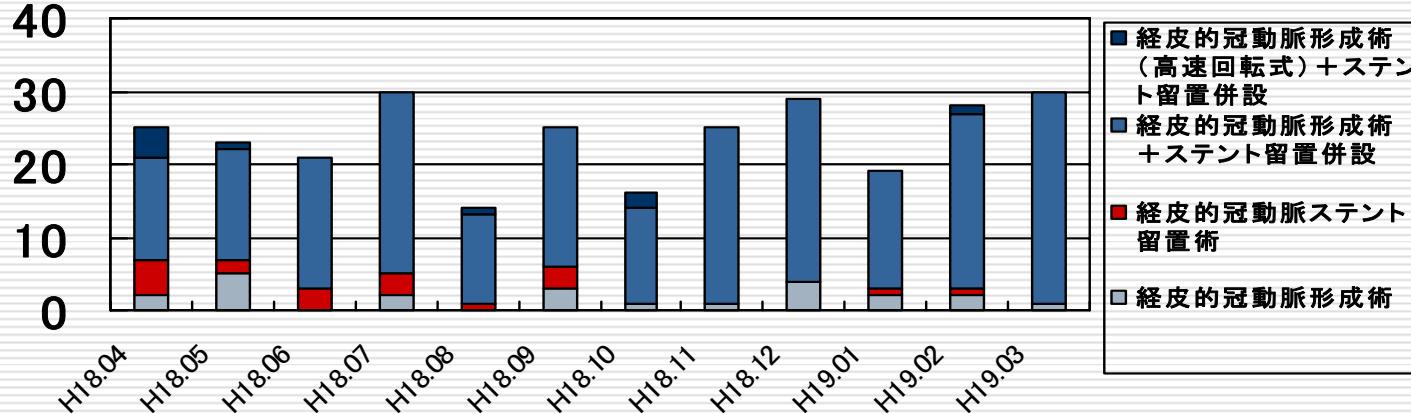
(うち主要5部位の作成件数)

| 胃(C160-169) | 大腸(C180-209) | 肝(C220-221) | 肺(C340-349) | 乳房(C501-509) |
|-------------|--------------|-------------|-------------|--------------|
| 70 | 98 | 22 | 59 | 26 |

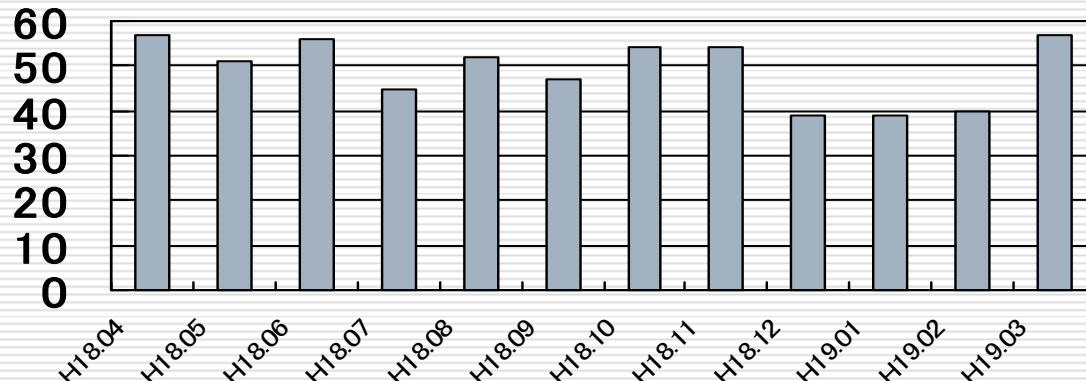
《心筋梗塞 平成18年度》

□ 心臓センター開設

□ 心臓カテーテルによる血管内手術件数



□ 心臓カテーテル検査数



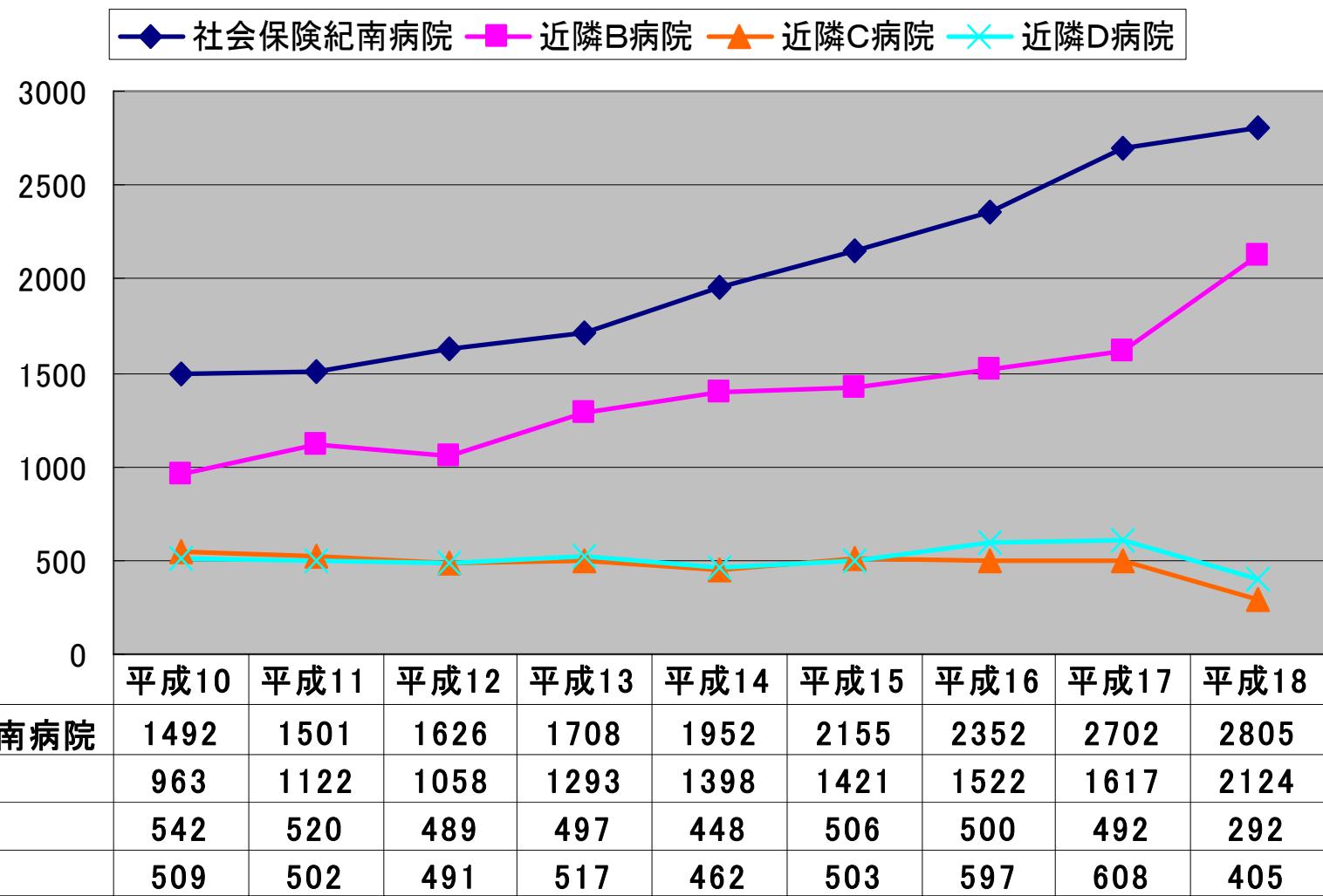
| | |
|----------|-----|
| カテーテル検査数 | 591 |
| 血管内手術 | 285 |
| バイパス術 | 51 |

平成18年度

《糖尿病》

- 糖尿病専門外来
- 糖尿病教室
 - 毎週水曜日に定期開催（定員10名程度）
 - 日本糖尿病学会専門医、薬剤師、栄養士、臨床検査技師による説明
- 糖尿病教育入院
 - 1週間コースと2週間コースを用意
 - 日本糖尿病学会専門医、看護師、薬剤師、栄養士、臨床検査技師、理学療法士による個別指導

《5事業》 救急医療 救急車両による救急患者搬送数



《5事業》 災害拠点病院

- 大規模災害を想定したトリアージ訓練実施

訓練日 H19年9月8日

参加者 120名



- 災害時透析患者支援システム参加
- DMAT

《5事業》へき地医療拠点病院

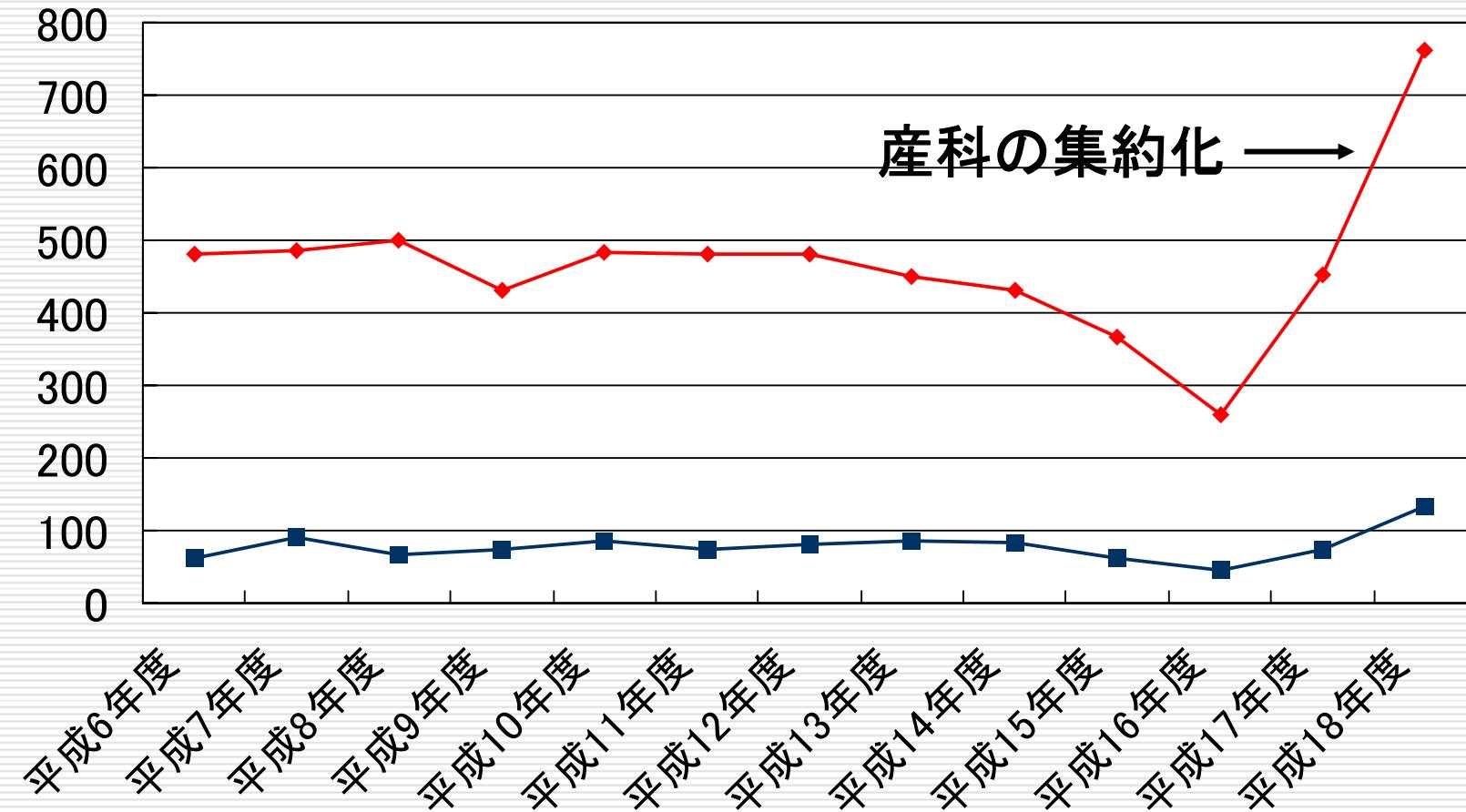
無医地区診療医師派遣
秋津川診療所
上芳養診療所
過疎地域診療医師派遣
本宮さくら診療所



《5事業》 周産期医療

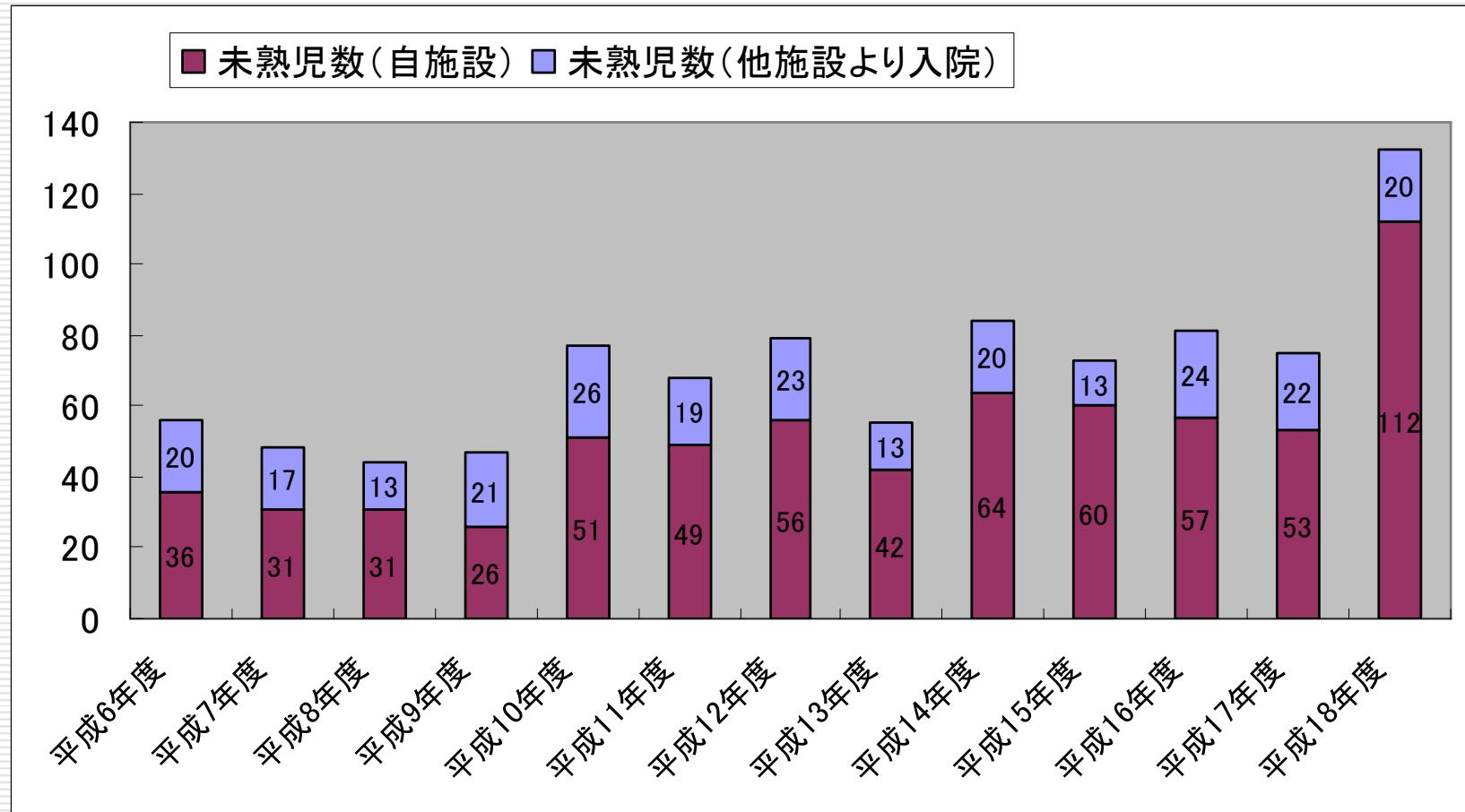
□ 分娩件数の推移

◆ 分娩数 ■ 帝王切開(再掲)



《5事業》 小児・周産期医療

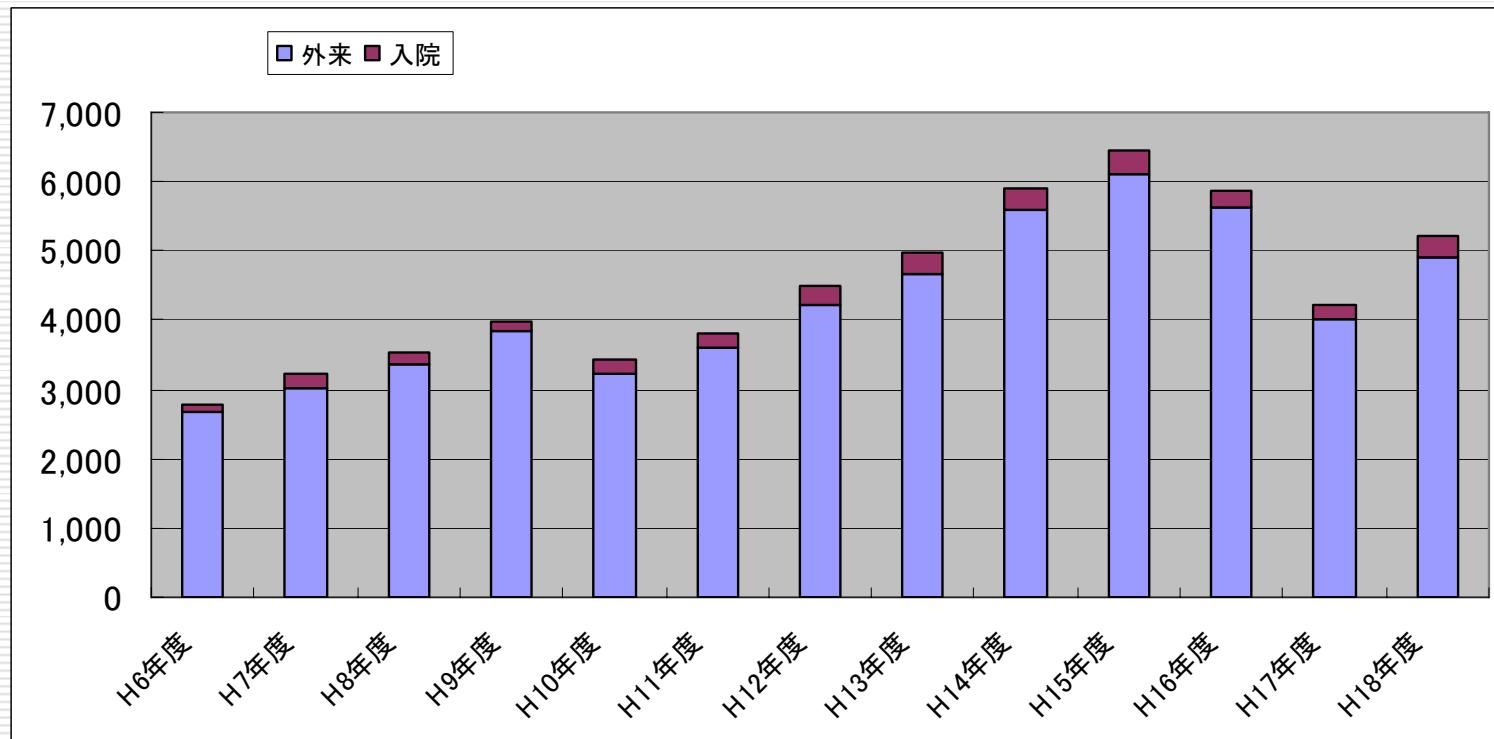
□ NICU利用状況



《5事業》 小児医療(小児救急)

□ 小児時間外患者数の推移

| | H6年度 | H7年度 | H8年度 | H9年度 | H10年度 | H11年度 | H12年度 | H13年度 | H14年度 | H15年度 | H16年度 | H17年度 | H18年度 |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 外来 | 2,667 | 3,025 | 3,350 | 3,827 | 3,233 | 3,612 | 4,221 | 4,650 | 5,609 | 6,117 | 5,629 | 4,030 | 4,909 |
| 入院 | 114 | 207 | 178 | 155 | 195 | 200 | 273 | 342 | 293 | 325 | 248 | 198 | 299 |



《医師の確保対策》

□ 臨床研修病院・歯科臨床研修病院

| | 医 科 | 歯 科 |
|---------|---|---------------|
| 指定区分 | 管理型臨床研修病院 | 単独型臨床研修病院 |
| 指導医数 | 35名 | 3名 |
| 初期研修医数 | 1年次 6名・2年次 6名 | 1年次 1名・2年次 1名 |
| 後期研修医数 | 1年次 3名・2年次 2名 | |
| 協力病院・施設 | 紀南こころの医療センター、田辺保健所、田辺市龍神中央診療所、三川診療所、富里診療所、川添診療所 | |

□ 関連大学医局(大阪大学・和医大・徳島大学)との関係強化

□ 図書室機能の強化 (司書 : 1名常駐)

国内図書:5,499冊／国外図書:4,700冊、国内雑誌:87種類／国外雑誌:49種類、Medline等の文献データベース利用可、医学教育用シミュレーター有、文献複写にかかる諸費の無料化、開業医・登録医師に対して図書室開放

《看護師の確保対策(1)》

- 7:1看護体制の実施（平成18年6月1日）
- 認定看護管理者（ファーストレベル：44名）
- 各種資格認定の取得支援

| | |
|--------------------|----|
| 皮膚・排泄ケア | 2名 |
| がん化学療法看護 | 1名 |
| 新生児集中ケア | 1名 |
| 日本糖尿病療養指導士 | 1名 |
| 日本アロマセラピー学会認定助産師 | 1名 |
| マタニティビクス認定インストラクター | 1名 |
| 上級思春期相談員 | 1名 |
| 呼吸療法認定士 | 1名 |

《看護師の確保対策(2)》

□ 各種研修会・講習会への参加支援

- H19年度において、計48の研修会・講習会等に、計103名の看護職員が参加。

□ 院内研修の開催

- 院内において「看護研究」等の研修会を定期的に開催し、医療技術のさらなる向上を図っている。

□ 看護学生の実習受け入れ

- 社会保険紀南看護専門学校
- 南紀高校看護科
- 和歌山看護専門学校2年課程(通信制)
- 和歌山県立医科大学保健看護学部

《その他の事業》

- 市民健康講座・演奏会の開催
- 無料医療相談サービスの提供
- 健康診断事業

| | 総受診者数 | 総事業所数 |
|-------|--------|-------|
| H17年度 | 8,201人 | 317施設 |
| H18年度 | 8,405人 | 332施設 |

- 健診バスによる巡回健診事業

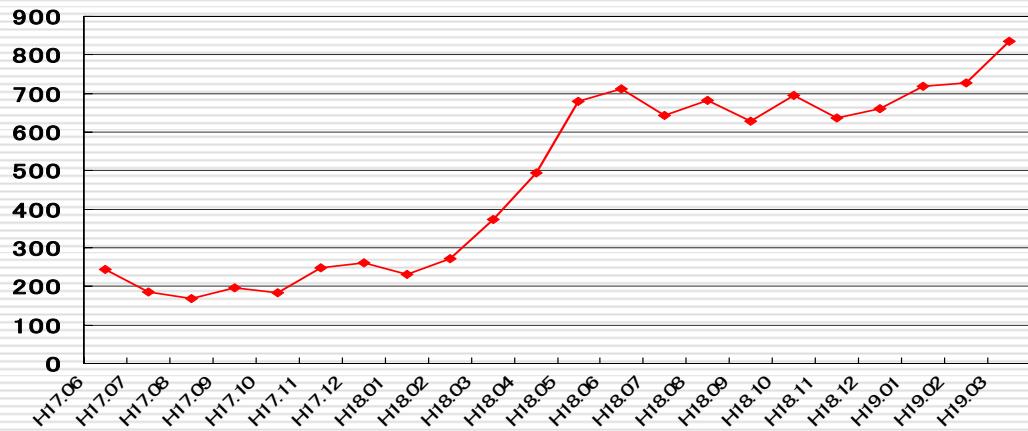
| | 総受診者数 | 総事業収益 |
|-------|---------|--------------|
| H17年度 | 11,593人 | 159,523,510円 |
| H18年度 | 11,730人 | 172,153,886円 |

《病診連携・病病連携》

□ 地域連携室予約患者数の推移



□ 逆紹介件数の推移



《実習受け入れ（平成18年度）》

| 職種 | 依頼先 | 実習内容 | 人数 |
|--------|-----------------------------|---------------------------------|-----|
| 医師 | 大阪医科大学 | 院外選択臨床実習 | 1名 |
| 救急救命士 | 田辺消防署、 上富田消防署 | 病院実習 | 16名 |
| 臨床検査技師 | 国際医療技術交流財団 | JICA地域別研修「仏語圏アフリカ 臨床検査技術コース」 | 4名 |
| 薬剤師 | 徳島文理大学 京都薬科大学 同志社女子大学 | 薬学部学生の病院実習 | 6名 |
| 放射線技師 | 京都医療技術短期大学 | 診療画像技術学臨床実習 | 1名 |
| 事務職 | 関西医療技術専門学校 | 病院実習 | 2名 |
| その他 | 市立中学校 | 職業体験実習 | 11名 |

《公開CPC・講演会》

□ 臨床病理検討会(CPC)の開催

地域医療に携わる先生方にもご参加頂き、これまでに計17回開催。臨床研修医にも発表の機会を提供。

| | 2004年 | 2005年 | 2006年 | 2007年 |
|------|-------|-------|-------|-------|
| 開催回数 | 5回 | 4回 | 5回 | 3回 |

□ 学術講演会の開催

院外から様々な専門分野の先生方をお招きし、これまでに「がん診断に関する講演会」や「がんの放射線治療に関する講演会」など、計14回の学術講演会を開催。

《まとめ》

- 特徴
 - 地域住民が設立した病院
 - 広い診療圏
- 今後の課題
 - 自己完結型医療から地域完結型医療へ
 - 専門医療の提供できるスタッフ確保
 - 初期研修医・後期研修医
 - 専門医・認定看護師の養成
 - 指導医の確保
- 今後も、現状に近い公的病院としての運営形態維持をお願いしたい。